

関係法令等
 日本国憲法 教育基本法
 学習指導要領
 熊本県児童・生徒教育指導の指針
 第2期くまもと「夢への架け橋」教育プラン
 熊本県教育委員会各課取組の方向
 芦北教育事務所取組の方向
 芦北町教育立町の理念

本校教育目標
 夢実現 潤いと輝きにあふれる学校

校訓
 自主 誠実 躍進

生徒の実態
 ○8割以上の生徒が家庭で情報通信機器を扱える環境にある。
 ○パソコン操作に慣れており、授業で個別指導を必要とする生徒は少ない。
 ○ゲーム、SNS等への熱中、情報モラルの欠落などの課題が見受けられる。

社会的背景・要請
 地域の実態
 保護者・教師の願い

本校情報教育の目標（目指す生徒像）
 1 さまざまな情報手段から必要な情報を取捨選択できる生徒
 2 情報モラルを尊重し、自ら得た情報を適切に活用できる生徒
 3 情報の意義を考え、自らも情報を発信できる生徒

各学年の指導の重点

1 年
 ・情報機器の基本的操作方法を身に付け、情報活用の実践力の基礎を身に付ける。
 ・情報の真偽を確かめながら情報を収集することができる。
 ・さまざまなメディアを活用して、情報を得る能力を養う。
 ≪情報モラル教育≫
 ・個人情報には、どのようなものがあるか理解している。
 ・情報モラルに反する情報に対し、基本的な対応の仕方が分かる。

2 年
 ・学習活動で収集した情報を自分の考えに沿って新たな資料にまとめることができる。
 ・具体的な課題を設定して、その解決のための手段としてコンピュータを活用できるように、実践的な学習を行う。
 ≪情報モラル教育≫
 ・自分の発信する情報について、安全性やマナーの視点から見直すことにより分かりやすい情報を発信しようとする。

3 年
 ・自らの課題を設定するなどしてより実践的な学習を展開する。
 ・インターネットや携帯電話を利用した犯罪があることを理解し適切に対応しようとする。
 ≪情報モラル教育≫
 ・個人情報に配慮して情報を発信しようとする。
 ・著作権、肖像権、知的財産権等の意味を知り、その権利に気を付けながら情報を加工しようとする。

各教科・領域においての実践

国語	自分の考えを適切に表現できる能力を育成する。
社会	情報化社会について理解し、その中で生活する基本的態度を養う。 インタビューやインターネット等による情報収集能力を育成する。
数学	情報処理の理解とシミュレーションなどを活用した授業を実践する。
理科	観察実験を通して、情報収集能力を高め、その処理の必要性を知る。 コンピュータなどを活用しての情報処理能力を育成する。
音楽	作曲などの創造活動を通して、表現伝達能力を育成する。
美術	描画ソフトなどを利用しての作品制作。情報の伝え方をデザイン的な視点で捉える。
保健	情報社会がもたらす健康障害に関する理解と体育における健康管理の基本的知識について理解する。
技術	情報機器を用いて、各種情報を処理し表現する能力を育成する。 情報モラルについて理解し、実践していく能力を育成する。
英語	英語情報を処理し、活用する能力を育成する
道徳	情報社会に参画するための知識と態度を育成する。
特別	学級活動や生徒会活動等で情報機器を効果的に活用する活動能力を養う。
総合的な学習の時間	課題の発見、情報の収集、調査結果の分析、発表等それらを総合的に活用する。

情報教育推進のための環境整備
 ・視聴覚機器も含めた情報機器の導入整備と活用
 ・パソコン室の管理運営
 ・教育用コンテンツの活用
 ・学校図書館との連携ならびに情報の一元化
 ・生徒がコンピュータに向かう時間の確保

学校・家庭・地域との連携
 ・校長室便り、学級通信、保健便り、ホームページ、学校ブログ、連絡メール等による、保護者地域への情報教育の広報活動
 ・地域人材活用や地域教材の発掘と人的な協力体制作り

指導態勢・研究体制の整備
 ・情報教育指導計画の作成各教科
 ・道徳、特別活動、総合的な学習の時間、校内の情報教育に関する組織整備
 ・インターネット活用に関するガイドラインの作成
 ・全職員員のコンピュータ研修
 ・システム支援員との連携
 ・情報モラル全般に関する研究

人権教育を通じて育てたい資質・能力

①知識的側面	ウ	国内外の人権関連の条約や法令についての理解
②価値的・態度的側面	エ	自分と異なる多様な考え方を尊重する態度
③技能的側面	イ	相手の立場に立って考えることができる想像力や感受性
	ウ	相手の考えをしっかりと聞いたり、自分の考えをしっかりと伝えたりすることができるコミュニケーション能力